

大会会長あいさつ

ご挨拶

日本環境変異原学会(The Japanese Environmental Mutagen Society、略称JEMS)は、昭和47(1972)年に結成されて以来40余年にわたって、人間・生物・地球環境における変異原、特に公衆の健康に重大な関係を有する変異原とこれに関連する基礎研究の推進、並びに関連情報・技術の伝達を目的として活動をしてきています。平成27度の第44回大会は、「ゲノム変異の生成と抑制：分子メカニズムの理解からレギュラトリーサイエンスへ」をテーマとし、11月27日(金)～28日(土)の2日間、福岡市にある九州大学の馬出(病院地区)キャンパス(コラボ・ステーションI・II)において開催する運びとなりました。

医薬品を含む多様な化学物質は、私たちの日常生活に欠かせないものですが、これらには、ゲノムを構成する遺伝子に傷をつけ、突然変異や発がんを引き起こす(遺伝毒性)負の側面があることは否めない事実です。今日では、微生物や培養細胞、そして実験動物(マウス、ラット等)を用いる各種の変異原性試験法が定式化され、行政的な枠組みの中に組み込まれ、ゲノムに対して有害な作用を示し、発がん性を示す恐れのある物質は、市場に出回る前に排除される仕組みができています。日本環境変異原学会の40余年の歩みは、ヒトを化学物質の遺伝毒性から防護するという意味で、重要な役割を果たしてきたと言えるでしょう。

一方、様々な化学物質等が生殖細胞のゲノムに損傷を与え、次世代のゲノムに変異を誘発する「経世代的な遺伝毒性」については、まだこれからの課題として残されています。また、内因性変異原としての酸化ストレスがヒトの健康に及ぼす影響や、ゲノム変異と発がんの関係を実験動物の同一個体で調べる手法等の開発は、基礎研究のみならずレギュラトリーサイエンスの分野で、今後益々発展させるべき課題と考えられています。

近年の科学技術の急速な進歩により、ゲノム変異に起因する遺伝毒性やがんの誘発メカニズムを分子レベルで理解することが可能になってきました。本大会では、ゲノム変異の生成と抑制に関する分子メカニズムの新知見を会員の皆さんと共有し、研究成果の展開が今後の様々な化学物質の遺伝毒性や発がんのリスク評価へと繋がるような議論の場を提供したいと考えています。産官学いずれの研究者にも興味をもっていただける内容を企画しましたので、活発な研究交流が実現することを心から期待しています。

平成27年11月
日本環境変異原学会第44回大会
大会会長 續 輝久

大会案内

□ 開催日・開催場所・連絡先

◆本大会：2015年11月27日(金) - 28日(土)

コラボ・ステーション I・II

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 九州大学馬出(病院地区)キャンパス内

◆分科会：2015年11月26日(木) 18:00 ~ 20:00

九州大学馬出(病院地区)キャンパス内

哺乳動物試験研究会(MMS) 基礎B棟 2階 講義室

微生物変異原性試験研究会(BMS) 総合研究棟 1階 102号室

□ 主催

日本環境変異原学会第44回大会 実行委員会

□ 実行委員会

大会会長：續 輝久 (九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野)

実行委員：能美 健彦 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)

本間 正充 (国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部)

森田 健 (国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部)

鈴木 孝昌 (国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部)

戸塚ゆ加里 (国立がん研究センター研究所 発がん・予防研究分野)

中島 大介 (国立環境研究所 環境リスク研究センター)

伊吹 裕子 (静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科)

下位香代子 (静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科)

八木 孝司 (大阪府立大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻)

羽倉 昌志 (エーザイ株式会社 筑波安全性研究部)

河井 一明 (産業医科大学 産業生態科学研究所)

葛西 宏 (産業医科大学 産業生態科学研究所 名誉教授)

荻 朋男 (名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野)

安心院祥三 (化学物質評価研究機構 日田事業所 試験第二課)

中津 可道 (九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野)

大野みずき (九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野)

□ プログラム委員会

委員長：中津 可道（九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野）

委員：石野 良純（九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座）

作見 邦彦（九州大学 生体防御医学研究所 脳機能制御学分野）

岡 素雅子（九州大学 生体防御医学研究所 脳機能制御学分野）

鷹野 典子（九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野）

大野みずき（九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野）

□ 大会事務局

日本環境変異原学会第44回大会 大会事務局

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野内

TEL: 092-642-6143 FAX: 092-642-6145

E-mail: jems2015@med.kyushu-u.ac.jp

URL: <http://www.congre.co.jp/jems2015/>

大会内容

□ 本会議

■口演プログラム 会場：コラボ・ステーションⅠ 2階 視聴覚ホール

- ・特別講演 11月27日(金) 13:00～14:00
- ・受賞講演(平成27年度日本環境変異原学会 学会賞および研究奨励賞)
11月27日(金) 16:00～16:40
- ・シンポジウム
 1. 「酸化ストレスによる生物影響」
11月28日(土) 10:20～12:00
 2. 望月喜多司記念賞シンポジウム
「ゲノム変異の生成と抑制 -分子メカニズムからレギュラトリーサイエンスへ-」
11月28日(土) 15:20～17:00
- ・ワークショップ
 1. 「環境汚染物質の検出とリスク評価 -過去から未来へ-」
11月27日(金) 10:30～12:00
 2. 「食品中に生成する物質の遺伝毒性評価」
11月28日(土) 9:00～10:20
- ・一般講演
 1. 11月27日(金) 9:30～10:30
 2. 11月28日(土) 13:00～14:00

■ポスターセッション 会場：コラボ・ステーションⅡ 1階 コミュニティラウンジ

発表コアタイム

- プログラム番号奇数 11月27日(金) 14:00～15:00
- プログラム番号偶数 11月28日(土) 14:00～15:00

□ 総会・授賞式

11月27日(金) 15:00～16:00
コラボ・ステーションⅠ 2階 視聴覚ホール

□ 懇親会

11月27日(金) 18:00～20:00
ホテル日航福岡 新館 2階「ラメール」
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目18番25号
※JR、地下鉄 博多駅より徒歩約3分
※会場までのシャトルバス等はございません。各自でのご移動をお願いいたします。
TEL: 092-482-1111(代)
URL: <http://www.hotelnikko-fukuoka.com/>

□ 企業展示

11月27日(金) 8:30～16:00

11月28日(土) 8:30～15:20

コラボ・ステーションⅡ 1階 コミュニティラウンジ、2階 大セミナー室

□ ベストプレゼンテーション賞の選考について

一般演題の中から、ベストプレゼンテーション賞として、日本環境変異原学会評議員による投票により本年度の優れた発表4題を選考し、「BioMed Central Award」、「秦野賞」、「オックスフォードジャーナル賞」、「エルゼビア賞」を授与します。選考結果は、後日、JEMSニュース、メールマガジンにて発表し、受賞者には直接メールで連絡します。

□ 第一編集委員会

11月26日(木) 11:00～12:00

コラボ・ステーションⅠ 1階 共同セミナー室A・B

□ 平成27年度 第2回理事会

11月26日(木) 12:45～15:00

コラボ・ステーションⅠ 1階 共同セミナー室A・B

□ 平成27年度 第2回評議員会

11月26日(木) 15:20～17:45

コラボ・ステーションⅠ 2階 視聴覚ホール